

MAXHUB

2分[🕒]でわかる!
MAX HUB[👉]



会議も講義も商談も

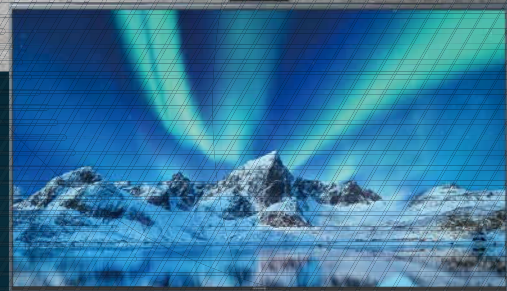
必要なすべてをこの1台に



T6530

65インチ

W1455 × H888 × D79mm



T8630

86インチ

W1921 × H1151 × D78mm



MAXHUB V6 TRANSCEND SERIES

MAXHUB

コミュニケーションをDX



会議室を劇的に変化させるオールインワンシステム

MAXHUBは会議室をデジタルに変えるオールインワンのミーティングボードです。会議室に必要なマイク、スピーカー、カメラ、電子ホワイトボード機能をこのディスプレイ1台に備えています。WindowsOSを搭載しており、PCとしても使用することができます。



会議 × MAXHUB

WEB会議に必要な環境を即座に用意できます。ホーム画面のボタン一つでWEB会議をスタート。高性能なカメラ・スピーカー・マイクを備えています。



講義 × MAXHUB

電子ホワイトボード機能を備え、指先でスマホのように扱えるマルチタッチにも対応しています。アプリや遠隔参加など複数の機能を組み合わせ、効果的な学習環境を実現しています。



商談 × MAXHUB

最新のWindowsを搭載し、パソコンとしても利用できます。Office系の資料データはもちろん、ZoomやTeamsなどの会議アプリも利用できるため、柔軟なコミュニケーションを実現します。

会議の準備にかかる時間も機材のスペースも不要です

MAXHUB1台で高度なデジタルコミュニケーションを可能にします



会議の度にカメラとマイクを設置して、ディスカッションは紙の資料とホワイトボードで進行していく。MAXHUBがあれば、そのような準備も片付けも必要ありません。高性能なカメラ・マイク・スピーカーを本体に備えているため、すべてのコミュニケーションをMAXHUB1台で行えます。

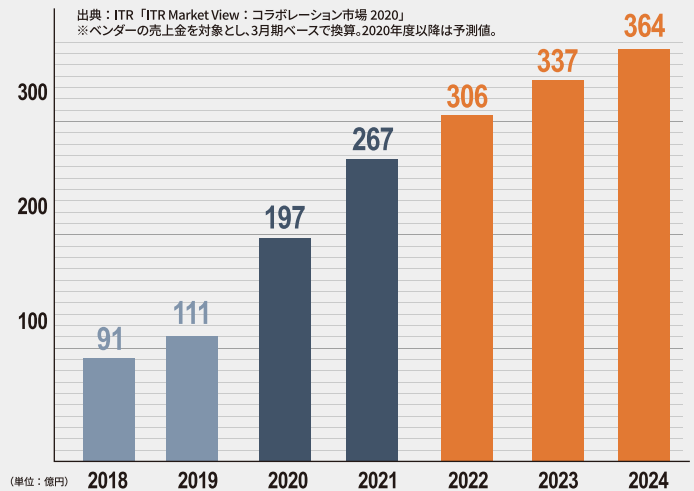
世界で広がるIFP (インタラクティブ・フラット・パネル) 市場

IFPとは (インタラクティブ・フラット・パネル)

電子ホワイトボードやビデオ会議、データ共有など、利用者の相互コミュニケーションを可能にするためのあらゆる機能を持つ高性能ディスプレイです。これまでに複数の機器を必要としていた機能を1台に備えることで、簡単かつ高性能なデジタルコミュニケーションを提供します。

日本でも導入が広がるIFP

日本国内におけるIFP市場の活況は始まったばかり。IFP導入数の増加や急速な認知度の向上に対して、同市場のCAGR(年平均成長率:2019～2024年度)は26.7%の高成長、2024年度には2019年度の3倍以上の市場規模になると予測されています。 ※2021年度はおよそ3万台弱の出荷台数



日本で一番売れているIFP。それがMAXHUBです

2022年IFP国内総出荷台数20,000台のうち、MAXHUBは10,000台を出荷。国内市場でMAXHUBが業界ナンバーワンになりました。高性能な機能を搭載し、多様なインターフェイスに対応するMAXHUBは、日本国内だけでなく世界にもシェアを広げています。



発表者の切り替えもワイヤレスでワンタッチ

付属の dongle を発表者の端末に挿すだけで画面を MAXHUB に反映



Before 発表者が変わるごとに準備が必要



After Dongle を挿してワンタッチ接続



発表者の人数が多い会議もワンタッチでスムーズに進行

会議の発表者が変わるごとに、接続ケーブルを切り替える必要はありません。付属の dongle を手元 PC の USB に挿し込めば MAXHUB と接続完了です。あとは発表者に dongle を渡すだけで席の移動も必要ありません。複数の dongle を同時(最大4台)に接続する、複数画面にも対応しています。

WEB 会議の説明も視覚的にわかりやすく

MAXHUB に表示された画面に書き込みながら説明できます



Before どこを説明しているかわからない



After リアルタイムでわかりやすい



一方向的な説明になりやすい WEB 会議をもっとわかりやすく

資料を見せながらの WEB 会議は、情報量が多いと、どこを説明しているかわからなくなることがあります。MAXHUB は、表示している資料への書き込みや操作もリアルタイムで画面に反映されるため、情報が伝わりやすくなります。遠隔地でも、その場で説明を受けるかのような感覚で会議に参加できます。

会議内容をそのまま保存して前回の続きからスタート

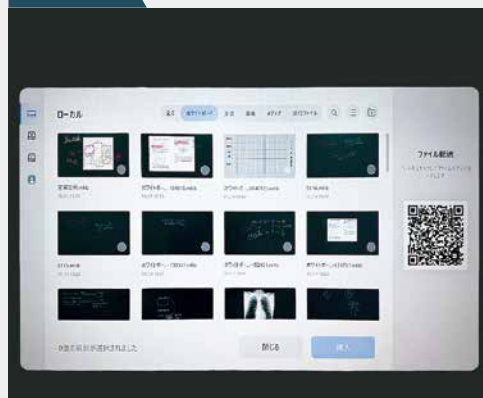
定例会議や進捗会議もそのまま保存、同じ状態から再開できます



Before 前回の会議内容を記入



After 前回の会議内容を読み込み



会議内容のボードをそのまま保存しておく

画面に表示した資料やデータ、書き込みなど、MAXHUB に記した会議の記録はそのまま保存しておくことができます。会議の再開は画面を読み込むだけ。長引く会議を一旦終わらせることも、続きを再開することもカンタンです。前回の会議内容を思い出したり、同じ内容をボードに書き起こす必要もありません。

手元のPCをMAXHUBから遠隔操作

手元PCに入っているデータや専用ソフトをMAXHUB上で表示・操作できます



発表者のパソコン画面をMAXHUBで操作できる

付属のドングルを発表者のUSB端末に挿してワンタッチ。それだけで発表者の端末とMAXHUBが同期されます。画面の投影だけでなくMAXHUBからの操作が可能です。発表者は自分の端末と同じ感覚でMAXHUBを操作できます。MAXHUBにインストールされていないソフトやデータの再生も可能です。

参加者の質問も回答もMAXHUBに集約

参加者のスマホから直接MAXHUBに質問や回答を飛ばすことができます



発表を遮らない参加者とのコミュニケーション

研修やプレゼンの場では、質問がなかなか出てこない、質問で発表が遮られることがあります。MAXHUBは、参加者が手元のスマホから質問や意見を送信できるふせん機能を備えています。また、その場にいる参加者の回答を集めて簡単にまとめることができる投票機能もあります。参加者の意見・質問をリアルタイムで反映します。

発表内容に集中! 板書はQRコードでカンタン保存

MAXHUBの画面をQRコードで簡単に共有することが可能に



手元のスマホでQRコードを読み込みMAXHUBの画面データを共有

研修の場では、参加者が板書の書写しに時間を取られて内容に集中できていないことも少なくありません。MAXHUBは、画面に表示されたスライドデータ(最大20ページまで)をQRコードでその場にいる参加者に共有できます。また画面そのものを動画でも収録できるため、参加できなかった人にもカンタンに内容を共有できます。

常時接続で離れた拠点と空間をつなげる

その場にいる感覚で離れた拠点とのコミュニケーションが可能に



Before 他拠点とのコミュニケーション不足



After 常時接続で普段の様子を共有



日常会話やカンタンな打ち合わせならその場で解決

MAXHUBのディスプレイは大画面なだけでなく、高精細な4K画質です。また4800万画素の超高感度カメラとズームカメラを搭載しています。細部まで写し、鮮明に表示することで、離れた拠点間をシームレスに繋がります。隣の人に声をかける感覚で、離れた拠点とのリアルタイムコミュニケーションを実現します。

デジタルサイネージとして利用

Windowsを搭載。多様なデータを取り扱えます



Before 普通のホワイトボード



After リアルタイムで反映されるデータ



掲示物や共有情報も大画面のMAXHUBで

MAXHUBはWindowsを搭載しているため多様なソフトに対応しています。会議やコミュニケーション以外の場でも、デジタルサイネージとしての利用が可能です。社員向けのスケジュールや成績表示など社内掲示板として、また利用客に向けたメニューやイベントの紹介など、ディスプレイ広告としての利用も可能です。

福利厚生の一環に！映画や音楽の視聴も可能

大画面&高機能のMAXHUBは、休憩時間や終業後のレクリエーションでも活躍します



Before 固定の社員間でコミュニケーション



After MAXHUBでレクリエーション



スポーツ観戦やゲーム大会など業務外の時間を盛り上げる

MAXHUBには、HDMIなどの外部接続端子が備わっており、ゲーム機やTVチューナーなどの機器も接続可能です。さらに、動画配信サービスも利用でき、業務外の時間には社員コミュニケーションを深めるためのイベントに活躍します。高出力のスピーカー・ウーファーも搭載されているため、空間のBGMや音楽の再生にも利用できます。

下記業種以外でも様々な業種で利用されています

建築・ハウジング



遠隔で図面や専用ソフトを操作

離れた拠点間でも綿密な打ち合わせを可能にします。複数のパソコンや紙資料を必要とせず、MAXHUB 1台で画面に表示した図面への書き込み指示や、ドングルを介しての専用ソフトの操作も可能です。

製造業



CADなど設計ソフトも大画面で

MAXHUBにインストールされていない専門的なソフトでも、ソフトがインストールされたパソコンのUSBにドングルを挿し込むだけで、MAXHUB上での操作が可能になります。必要なデータを大画面で共有することが可能です。

運送業



問題点の見える化、運送プロセス改善

効率的なコミュニケーションとリアルタイムな情報共有が可能となり、配送スケジュールの最適化やトラッキングの迅速化が実現します。これにより、運送プロセスの透明性向上や問題の早期発見につながります。

自動車販売



リアルタイムコミュニケーションの進化

全社員へのリアルタイム情報伝達に活用できるほか、技術習得や不具合解決の効率向上が可能です。高精細かつ大画面のMAXHUBを介して、専門的なメカニック部門の研修・技術習得に寄与します。

医療



4K大画面での術前カンファレンス

フルHDの4倍高画質の4K大画面で、画像を鮮明に表示します。タブレットと同じ感覚で、手や指の操作によるズームやスライドに対応。ペンによる書き入れも可能です。

介護



コミュニケーションで結ぶ介護

日常のミーティングや朝会での情報発信、入居者向けの体操動画の投影、ご家族とのオンライン面談やテレビの視聴など、介護サービス向上だけでなく、人員配置やコミュニケーション補助にも寄与します。

学校・学習塾



準備時間を短縮! 授業の効率的な進行

授業内容を動画で保存し、QRコードでカンタンに共有できます。板書も保存できるため、前回の続きから準備時間ゼロで授業を再開できます。また、ホワイトボードの設定を変更して、教科に最適な設定にカスタムできます。

冠婚葬祭業



結婚式と葬儀の特別な瞬間の共有

結婚式ではQRコードを活用し、スマホで撮影した写真を即座に送信。葬儀や告別式では故人に関する写真やビデオを共有します。どちらの場合も、MAXHUBを介してリアルタイムで遠隔参加が可能です。

行政



膨大な情報整理とコミュニケーション

災害時の対応など、MAXHUBなら膨大な情報を交えつつ離れた拠点とも円滑なコミュニケーションを取ることが可能です。天候情報やライブカメラ、WEB会議など、画面を分割して使用することができます。

MAXHUB V6 TRANSCEND SERIES

スペック項目		T6530	T8630
ディスプレイ	ディスプレイサイズ	65インチ	86インチ
	ディスプレイ領域	1,428.48(H)×803.52(V)mm	1,895.04(H)×1,065.96(V)mm
	解像度	3,840 × 2,160	
	コントラスト	5000:1	4000:1
	応答速度	6.5ms	8ms
	輝度	350cd/m	
	視野角／表示色	178°(H/V) / 1.07B (10bit)	
PCモジュール	CPU	Intel® Core™ i5	
	ストレージ	SSD 256GB	
	メモリー	16GB	
	OS	Windows 10 IoT Enterprise LTSC 2021 (21H2)	
	外部入力	HDMI入力×1、USB Type-B×1、USB2.0×1、USB Type-C×1、オーディオ出力×1、RS232×1(メンテナンス用)	
タッチパネル	ガラス強度／表面処理	強化ガラス(鉛筆硬度:9H) / 抗菌アンチグレア加工	
	検出方法／タッチポイント	静電容量式 / 20点マルチタッチ	
	入力方法	指、静電容量式タッチペン	
	読取精度／書き込み距離	±1.5mm / 0mm	
	同時記入	対応(マルチライティング機能有効時)	
カメラ	カメラ機能	Cam1: 4,800万画素 Cam2: 800万画素	
	画角	Cam1: 対角画角: 99.6度、水平画角: 91.9度、垂直61.8度 Cam2: 光学3倍ズーム対応	
マイク	マイク機能／集音距離	8個アレイマイク / 8m	
サウンド	スピーカー＋ウーファー	2×10W+2×15W	
電源	使用電源	100-240V - 50/60Hz	
	最大消費電力	350W	500W
サイズ	本体サイズ(梱包サイズ)	W1,455×H888×D79mm(W1,628×H992×D208mm)	W1,921×H1,151×D78mm(W2,112×H1,283×D280mm)
	本体重量(梱包重量)	40kg (52kg)	60kg (82kg)
	VESA	600×400mm	
付属品	付属品	タッチペン×2、ワイヤレスドングル×2、ペン/ドングル収納箱×1、WiFiモジュール(本体用)×1、電源コード×1、保証書、壁掛け金具一式	



株式会社関西ぼど
大阪市西区靱本町1-10-24
三共本町ビル5F